



◇指導方法

<文字拾い>

- ①ひらがなの文字カードを磁石シートに貼って提示する。文字カードの数は、実態や理解度に合わせて調整する。
- ②教師が文字を一音ずつはっきりと言う。生徒はその音を聞いて文字カードの中からその文字を選択し、ホワイトボードの枠に貼る。
- ③単語を構成する文字を一音一音選択していき、最終的に単語が構成された時点で、数枚の絵カードを提示する。
- ④構成した文字を見てその単語が表す物を絵カードの中から選択して単語の横に貼る。
- ⑤正解したところで、一文字ずつを指差ししながら声に出して読んで確認する。

<文字並べ>

- ①絵カードを枠の中に貼る。
- ②絵カードに当てはまる文字を磁石シートの文字群の中から選択し、文字を並べて単語を構成する。
- ③並べた文字を教師と一緒に声に出して読みながら正誤を確認して、間違った場合には正しい文字を選択し直す。

◇指導のねらい

- ・ひらがな一文字一音の定着。
- <文字拾い>
- ・教師の言葉（単音）をよく聞いて、いくつかの文字の中からその文字を選ぶことができる。
 - ・並べた文字を見て絵カードを選択することができる。
- <文字並べ>
- ・絵カードを見て、その単語を構成する文字をいくつかの文字の中から選択し、正しく並べることができる。

◇指導の評価

<文字拾い>

- ・ひらがなに興味があり、言葉を単語のまとまりとして少しずつ理解しつつある生徒に対して、一文字ずつに注目することを通して一文字一音の理解を深める指導を行った。
- 本生徒は、本学習に入る段階で50音のうち4割程度のひらがなの音を聞いて選択することができていた。分かる文字を含めながらまだ理解できていない文字を中心に学習を行ったことで、少しずつ覚えていくことができた。学習の最後には、8割くらいの文字を音を聞いて選択できるようになった。

<文字並べ>

- ・文字拾いが定着してきた単語については、30文字程度の文字カードの中から必要な文字を選んで単語を作っていくことができるようになった。間違った文字を選択して並べていた場合でも、教師と一緒に一文字一文字を指差しして確認しながら読んでいくことで間違いに気づき正しい文字を選びなおすことができた。